

人と人をつなぎ、生きるを支える

オンライン産地交流



オンラインでより多くの組合員が産地交流に参加できるようになりました。

みるくぼきん



©WFP/Sebastien Rieussec

2015年度みるくぼきん贈呈式



コープの牛乳を利用することが貧困に苦しむ子どもたちの支援につながります。

交通安全教室



地域の子どもや高齢者に交通安全の知識や体験プログラムを提供しています。

地域見守り活動



定期的に商品をお届けしているから「いつもと違う」ことに気づくことができます。

商品検査センター



商品の開発からお届けまで、それぞれの段階で品質の確保に取り組んでいます。

夕食宅配 マイシィ



高齢者や共働きなど、食事づくりが大変な方にバランスの良い食事を届けています。

フードライブ



まだ食べられる食品を集め、フードバンクを通じて必要とする方に届けます。

リサイクルセンター



宅配カタログなどの分別・資源化に障がいのあるスタッフが活躍しています。

Uモニ



組合員の暮らしを知って、事業に生かしています。



生活協同組合ユーコープ 発足10周年記念誌

『人—社会—自然』の
調和ある平和な社会の実現に貢献する

生活協同組合ユーコープ

神奈川県横浜市中区桜木町1丁目1-8 <https://www.ucoop.or.jp/>



「みんなが幸せになれる」 ユーコープをめざし、前進します

生活協同組合ユーコープ
代表理事 当具 伸一

生活協同組合ユーコープは発足10周年を迎えました。この10年は組合員の皆様のご利用と活動への参加、またお取引先様をはじめ、地域の諸団体の皆様のご協力で大きく前進することができました。

組織合同の目的に照らすと、第一に「私の生協と実感できる＝私の声が生かされている」と感じる組合員の数、総代アンケートを見ても大きく増えています。第二に「従業員満足度調査」の結果から、「働くすべての人が生きいきと自分らしく働く」職場に近づくことができています。第三に「地域社会の中で役割を果たす」という点では、3県でのフードバンクの活動を通じて、行政や社会福祉協議会、JAや労働福祉協議会、その他地域の諸団体とのネットワークが大きく広がりました。第四に「生産者やお取引先様との共同の取り組み」が広がりました。そして、それらを支えるための、第五「みんなが安心してできる安定した経営になっている」については、まだまだ店舗事業に大きな課題を抱えているとはいえ、財務的には200億円弱の内部留保を実現しています。

これらの前進面に確信を持ち、「誰もが幸せになれるユーコープ」をめざして前進してまいります。



- 1946年 川崎生協設立
- 1975年 神奈川県内5生協が合同して、かながわ生協となる
- ▶1989年 コープかながわに改称
- 1949年 静岡民主生協設立
- ▶1988年 県内6生協が合同して、コープしずおかに再編
- 1973年 山梨中央市民生協設立
- ▶1998年 市民生協やまなしに改称
- 1990年 3県の7生協で全国初の事業連合ユーコープ事業連合を設立
- 2013年 コープかながわ、コープしずおか、市民生協やまなしの3生協が合同して、生活協同組合ユーコープが発足

**ミアクチャー
湘南辻堂駅前店オープン**
神奈川県藤沢市JR辻堂駅北口
売場面積470坪。地域のくらしや
組合員のニーズに応えた品ぞろえ
でお買い物の楽しさを提供



**NPT(核不拡散条約)
再検討会議に向けて**
NPT再検討会議開催に向けて、
組合員と職員の代表がニューヨークで核兵器廃
絶をアピール

2013

- 湘南辻堂駅前店、島田おびりあ店オープン
- 食材キット取り扱い開始
- 本部が新横浜から桜木町に移転
- しずおか県本部移転

2014

- ユーコープセレクション発売開始
- 子育て層・高齢者・障がい者世帯の宅配サービス料割引制度を改定
- 夕食宅配マイシィ山梨県での宅配開始
- フードバンクふじのくにへの食品提供スタート

2015

- 店舗で障がい者への割引制度新設
- NPT再検討会議開催に向けて代表派遣
- うなぎぼきんスタート

2016

- コープの産地指定 はぐみ鶏20周年
- 宅配の商品カタ ログ選択配布開始
- コープリサイクル センターオープン
- ヒバクシャ国際 署名(→2020)

2017

- 「コープの健康管理食」スタート
- ペットボトルキャップ全店舗・全センターで 回収開始
- 福祉事業の一環として補聴器の供給を開始
- 熊本地震、職員26人が熊本で支援

2018

- スマートフォンアプリ「ポッケアプリ」開発
- コープの産地指定茶美豚20周年
- 地域の拠点として上麻生店とちづか店をリニューアルオープン
- 交通安全教室過去最多開催
- モニター制度「Uモニ」スタート

2019



ベトナム人技能実習生の受け入れ

- 障がい者雇用率(2.53%)法定雇用率を上回る
- アレルギー配慮商品カタログ『みんなでいっしょにたべよう!!』創刊(年4回発行)
- 宅配「冷凍ミールキット」の取り扱い開始
- フードドライブを全店に拡大(一部宅配センターで試験運用)
- リサイクルセンター「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」会長賞受賞
- 台風15号で被災した生産者へ見舞金をお届け



冷凍ミールキット

ストックできて便利な冷凍タイプの展開で働きや高齢者世帯の食事づくりをサポート



障がいのある人が働く場を広げるきくらげ事業
リサイクルセンター敷地内の農場できくらげを栽培し、宅配と店舗に出荷しています

- 店舗で自動発注システム導入
- おうちCO-OP平塚センター移転、開設
- コープリサイクルセンターできくらげ事業を開始

**土石流災害
熱海伊豆山地区への支援**
高齢者施設に行政を通じて支援物資のお届けや訪問活動を実施



2020

- 夕食宅配マイシィ10周年
- 「ポッケアプリ」に店舗機能を追加
- ユーコープダイバーシティ促進に関する方針策定
- ユーコープホームページ内にサステナブルサイト開設
- 豪雨災害支援募金、熱海伊豆山地区への支援・訪問活動

- 宅配、店舗でコロナ禍の組合員のくらしをサポート
- コロナ禍のご利用に感謝してポイント進呈
- 店舗で宅配の商品が受け取れる「ステーション購入」開始
- 新型コロナウイルス緊急支援募金
- 食の支援急増に応じて全店舗でフードドライブ期間を緊急延長
- 「循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」「かながわ地球環境賞」「ヨコハマ温暖化対策賞」「横浜環境活動賞」受賞



環境の取り組みで受賞

リサイクル活動や宅配トラックのCO₂排出削減、リサイクルセンターの活動、食品ロス削減などの取り組みが評価されました



店舗ステーション購入

「お店でも宅配の商品を利用したい」「不在置きをたくない」の声に応じて、宅配の商品を店舗で受け取り可能に

組合員数 181万4,223人
供給高 1,911.8億円
経常剰余 78.7億円
(2021.3.20時点)



2013-2022 社会の動向

2013
2020年東京五輪開催決定

2014
消費税5%から8%に御嶽山噴火、広島土砂災害

2015
外国人観光客激増
マイナンバー制度スタート

2016
熊本地震
18歳選挙権施行
日銀マイナス金利を初導入

2017
九州北部豪雨
米トランプ政権発足
国連が核禁止条約採択

2018
西日本豪雨
北海道地震
災害級の猛暑

2019
元号「令和」に消費税8%から10%に

2020
新型コロナウイルス猛威初の緊急事態宣言
東京五輪1年延期

2021
東京五輪・パラリンピック開催
コロナ禍長期化
ワクチン接種

2022
ロシアがウクライナ侵攻
円安、資源高で値上げラッシュ

これからもユーコープをよろしくね!

